

建築文化賞

景観に配慮した建築物

建築主：学校法人下志津学園
設計：仙田満 + 環境デザイン研究所
施工：株式会社千葉工業
所在地：四街道市下志津新田2531-9

安全と不思議発見の空間が街の彩りに

四街道さつき幼稚園



周囲をとりまく竹林や植栽の緑に馴染むように緑色を基調とした園舎外観

公共施設は地域のチャームポイントであってほしいと願うが、この幼稚園は耐震補強をかねた増改築の機会を見事に活用して、その期待に応える成果として高い評価を受けた。

戸建て住宅街にあるこの建物は平屋で、前面道路からを入口とする南北の新築園舎と、街路に面して屋外広場を前面とする東西に伸びた既存保育室で構成され、北側裏地には竹林を配した敷地の好条件も生かされた。

新築園舎は、高い木造の梁架溝と明り取りからの陽光が長い通路のギャラリーを彩って、幼子たちに光の動く不思議空間を楽しませている。

東西に伸びた既存保育室は、鉄骨補強の軒を伸ばして広い通路とし、窓越しの竹林と反対側の屋外広場に視界をつなげ、保育室空間にゆとりの広がりを与えた。東端の屋内遊戯室にも一工夫があって、間口一杯の仕切り戸の開閉でステージが屋内

外いづれからも活用できる。

空間の不思議演出は、幼児たちの想像力と冒険を誘う。木材を主とした屋内は、安全は勿論のこと、親近感や開放感に加えて、かくれんぼも楽しめる気配りが嬉しい。

気配りは、さらに地域景観にもおよび、抑制のきいた緑と赤の外観塗装が、この辺りの風景のアクセントとして好感が持てる。建築の塗色はしばしば周辺との調和が問題になるが、こうした好例が地域の景観デザインを先導して欲しいと願う。

(野口瑠璃)



竹林、ふれあいの森（裏庭）が一望できるたけのこホール



庇つきの長いデッキに面した園庭

(撮影/環境デザイン研究所)